



「未来へつなぐ  
農の美、人の絆」

私たち水土里ネット熊本は、子どもたちの明るい未来を見据え、職員一人ひとりがこの想いを胸にし、農業・農村を元気にする様々な取り組みをおこなっています。これからも私たちの活躍に是非ご期待ください。

*Midorinet are fabulous!*  
～水土里ネットは最高だ！～

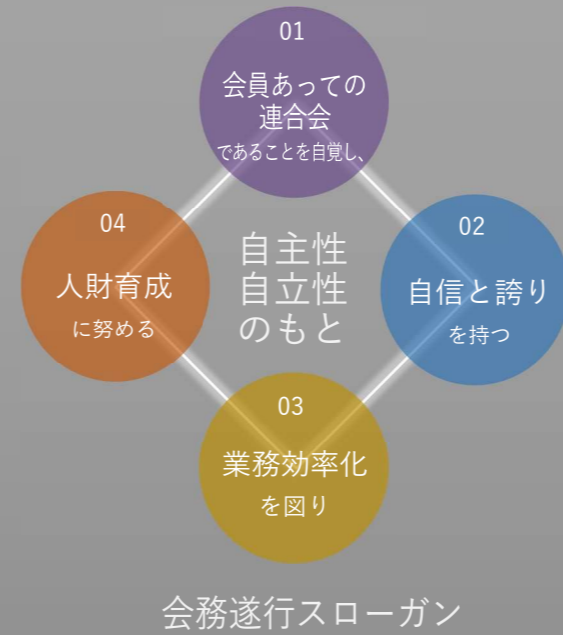


熊本の農業・農村を支える  
水土里ネット

2024  
VOL.12



# 「くまもとの水土里ネット」ポスター



水土里ネット熊本は、技術者集団という枠に留まらず、地域の豊かな水・土・里を未来に繋げ、より良い農業・農村の在り方を熊本から全国に発信しています。

そのため、職員一人ひとりが自主性・自立性のもと、会員あつての組織であることを自覚し、土地改良事業のプロフェッショナルとしてのプライドを持ち、最新鋭のツールを用いた効率的な業務推進と、人（財）育成に努めています。

全国各地で震災や水害等、大規模な自然災害が多発しておりますが、このような困難な時代においても、私達はその歩みを止めず、農業の収益性向上・競争力強化並びに防災・減災・国土強靱化を目指した「産業政策」と農村の地域資源の保全・活用や地域社会の維持・活性化を目指した「地域政策」を支援し、熊本県の農業・農村の政策実現に大きく貢献して参ります。



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11

- 12
- 1 H24年度 活動が地域、熊本、日本、地球に寄与
  - 2 H25年度 多面的機能の発揮
  - 3 H26年度 地下水と土の保全
  - 4 H27年度 強い農業と活力ある農村
  - 5 H28年度 災害に負けない農業・農村
  - 6 H29年度 笑顔あふれる農業・農村
  - 7 H30年度 平成で果たした役割と新たな時代への展望
  - 8 R1年度 農村の美しさを影で支える水土里ネット
  - 9 R2年度 どんな時代でも立ち上がる
  - 10 R3年度 田んぼの子カラが地域を守る大きな子カラに
  - 11 R4年度 みどりの子カラ、みんなにトドケ。
  - 12 R5年度 農業の美しさを味わう

## R6 vol.12

令和5年9月に国宝指定された「通潤橋」の勢いのある放水とともに、土地改良が生み出すこの美しい風景を、次世代を担う子どもたちに繋げていきたいという思いを表現しています。

ポスターの中心に書かれたメッセージは、土地改良（土地改良区）が農業生産性や食料自給率（食料自給力）の向上を担い、我々の生命を支える重要な存在であることを、すべての人に知ってほしいという願いを込めています。

### 産業政策

- 熊大生×佐野 耕作放棄地 盛り上げてみた!! 基盤整備事業による波及効果の発揮を見据えた基礎的支援 ..... P1
- 国の重点施策への対応 ~良き流れを未来へ~ ..... P3
- 農業水利施設の維持管理・長寿命化に関する技術的支援 ..... P5
- 災害への備えと防災重点ため池対策への支援 ..... P7

### 地域政策

- 農業・農村の多面的機能を次世代に繋ぐ地域や土地改良区の活動を支援 ..... P9

### その他

- 土地改良区の運営基盤の強化、県内及び全国へ水土里ネットの役割をPRする活動 ..... P11



# 基盤整備事業による波及効果の発揮を見据えた基礎的支援



TOKYO  
いざ、進出!

2023年は、ブランド栗「さのまるん」を東京キャピタルホテル東急へ120kg出荷。

## 将来を見据えた基盤整備事業との関わりが 農業・農村を元気に

熊本の基幹産業である農業。農業が産業として有り続けるためには、担い手の育成、高収益作物の導入、効率的な営農の展開を実現する基盤整備事業の計画的な実施、更にはその機能を長寿化する取り組みが不可欠です。

水土里ネット熊本は、これまで、県内各地域の基盤整備事業に事業構想段階から計画し、調査、測量、設計、換地などのあらゆる分野に携わってきました。そして、事業完了後も地元へ寄り添い、施設の長寿化に向けた維持管理を支援するなど、基盤整備事業に多角的かつ深く関わり続けてきました。

基盤整備事業への長期にわたる関わりは、農産物の生産性や品質の向上に限らず、担い手の育成や農地利用集積の向上、収益性の高い作物の導入を実現しています。

また、基盤整備の効果は直接的な効果に留まることなく、新たな雇用創出や地産地消など波及的な広がりを見せ、県内各地の農業・農村を元気にしています。

水土里ネット熊本は、農村地域における将来の波及効果の発揮を見据え、県内各地の基盤整備事業を下支えしています。

水土里ネット熊本と  
基盤整備事業との関わり



基盤整備事業による  
農地集積率の向上と労働時間の削減 ー直接効果ー  
優良事例【菊池市(佐野地区)】



UP 収益  
余剰時間は栗園再生へ  
基盤整備で作業効率向上  
波及効果I



### 1 農事組合法人菊池佐野

基盤整備後に法人を立ち上げ、農地集積や大型機械の導入を行い、農地汎用化に併せて作業効率の向上を実現。

- 農事組合法人「菊池佐野」のアイコン
- 佐野地区で生産される水田ごぼう
- 見事再生した佐野の「栗」



佐野地区ブランド栗「さのまるん」



熊本地震の被災を受けて、佐野地域と関わるようになった熊本大学生ボランティアサークルの「D-SEVEN」。農業従事者が減少する中、営農支援を通じて同法人のスローガンでもある“農を楽しむ”を体現している。



- SNSを活用したクラウドファンディング (web サイト)
- 佐野地区×大学生による営農支援活動と地域交流会

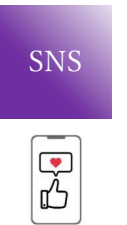
地域 to 大学生

## 波及効果II 地域の未来を切り開く 私たちが始める新たな挑戦



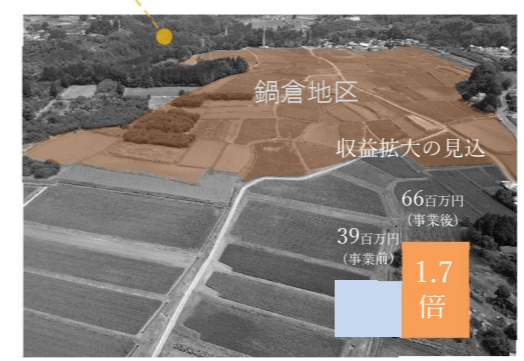
返礼品「佐野米」

地域と大学生の活動で代表される「クラウドファンディング」による地域活性化プロジェクト。学生が主体となり、取り組みを始め、目標金額を80万円に設定し、SNSを通じて地域の魅力発信や、地域農産物を返礼品とすることでこの応援資金を活動費として企てています。



新たな視点

更なる収益増加を目指して  
波及効果III



菊池佐野地区の成功を受け、隣接する農地の整備を行い、水田ごぼうの生産を中心に更なる収益増加を目指している。  
(県営中山間地域総合整備事業)



## 基盤整備事業の 一番の理解者であり続けることが

水土里ネット熊本は、これまで、**未来の農業の力**にそしてこれからも、熊本の農業を支える基盤整備事業の一番の理解者であり続けます。そのことが熊本県の未来の農業を支えていく力になると信じています。

## 基盤整備が生み出す 一波及効果一



農を楽しむ  
菊池市佐野地区



# 国の重点施策への対応～良き流れを未来へ～

## 基盤整備事業を契機とした 農地利用の プロフェッショナルとして

農地の集積・集約化は営農の効率化を促し、稼げる農業の実現、ひいては持続可能な地域農業を展開する手段として、県内各地で取り組まれています。

水土里ネット熊本は、国や県の重点施策に対応するため、基盤整備事業の実施地区を始めとする県内優良農地において、熊本県と一体となって事業着手前から着手後まで、換地業務・土地利用調整指導業務や農地情報整理など様々な営農継続に対する総合的な支援を行っています。

そのため、令和5年4月に施行された地域計画（人・農地プラン）の策定につきましても、これら実施地区における集積計画と共に、事業の進捗や地域の課題に応じた計画の見直しなど、市町村や地域のニーズに応じた提案を可能としています。

特に、TSMCに代表される半導体企業の進出により、周辺農地への影響が懸念されています。水土里ネット熊本は、均衡ある産業振興のための秩序ある土地利用の実現に向け、農業基盤や水資源、土地改良施設など適正に管理することで、この「良き流れ」を確実に未来へ繋ぎ、ひいては県下全域の地域営農の底上げに大きく貢献して参ります。

### 農地利用集積実務者



「農地利用集積」を図る多彩なメニューと強固な連携で各地区を支援

### 水土里ネット熊本

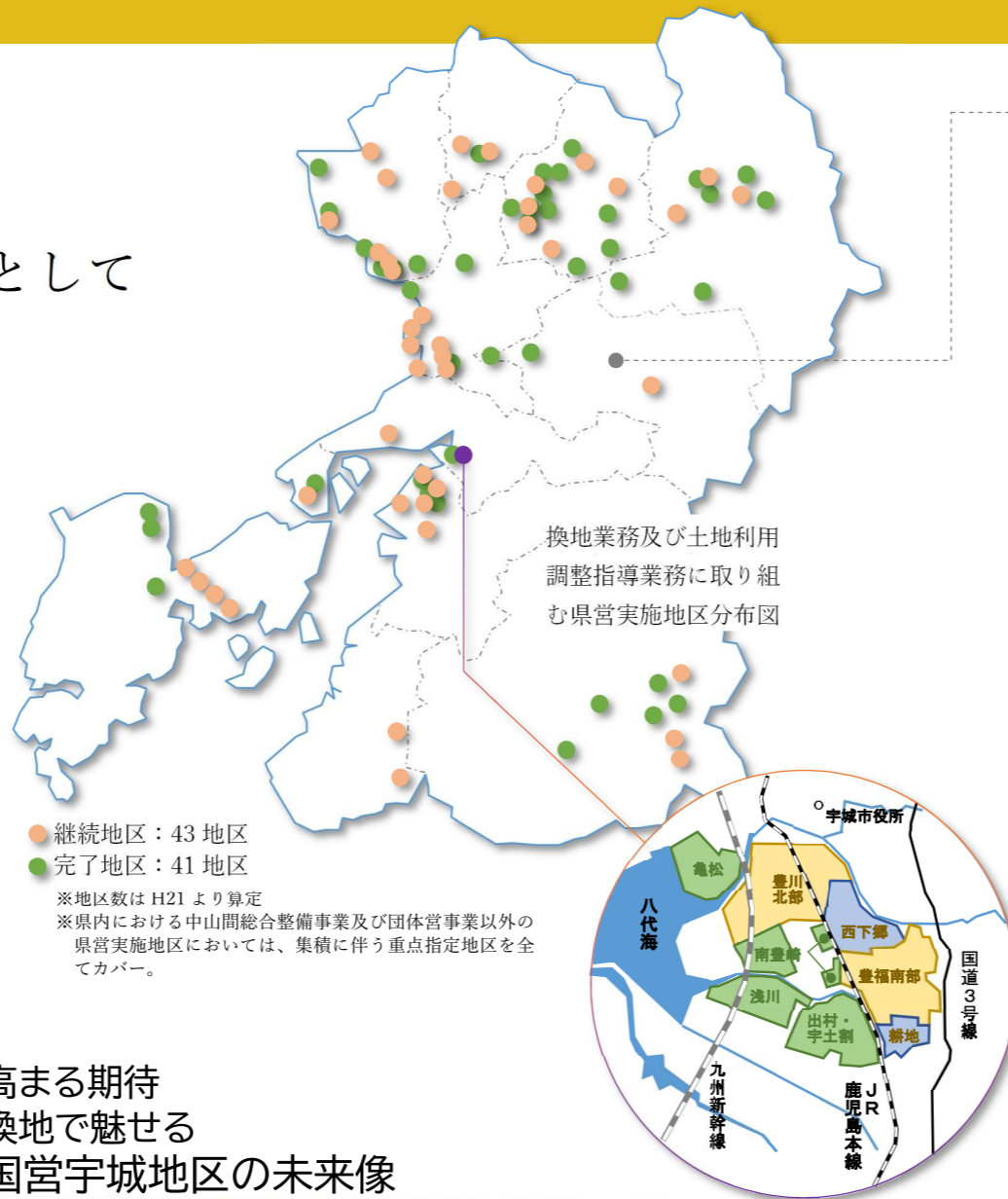


強固な連携体制

九州農政局

熊本県

農地中間管理機構



## 高まる期待 換地で魅せる 国営宇城地区の未来像

「宇城地区国営緊急農地再編整備事業」は令和2年度に全8換地区が事業採択され、今年度は「豊川北部換地区」「豊福南部換地区」において、地元の声を最大限に生かした「換地計画原案」を作成中です。また、「南豊崎換地区」「淡川換地区」の工事が完了し新たにできたほ場で作付けが行われたことで、ほ場整備に対する地元の期待値もこれまで以上に高まっています。

水土里ネット熊本は、換地のプロフェッショナルとして、これからも地元へ寄り添いながら、熊本県の農業生産拠点となる国営宇城地区を全力でサポートして参ります。



農地利用集積の検討状況（豊福南部換地区）

## 新規地区、続々と 農地中間管理機構関連事業 矢護川地区(大津町)



県内2例目となる同事業を実施する大津町の矢護川地区（23.0ha）



換地委員委嘱状交付式の様子（金田大津町長より委嘱状を手交）

約7割の整備率を誇る熊本県においても、続々と新規や再整備地区の要望があがっています。水土里ネット熊本は、地元からいただいた声を大切にし、事業完了を终点ではなく新たな出発点として捉え、地域を全力でサポートして参ります。

## いざ『稼げる農業』の加速化と、 『未来に夢を持てる力強い農業』の実現に向けて

水土里ネット熊本は、地元へ寄り添い、意欲ある担い手への農地利用集積を支援することで、『稼げる農業』を加速化し、「未来に夢を持てる力強い農業」の実現に大きく貢献して参ります。

Hot Topics

## 均衡ある産業振興のための 秩序ある土地利用に向けて

TSMCに代表される半導体関連企業の進出表明以降、周辺農地の売却が加速し、農地の減少や農地賃借契約の解除が発生しており、利用可能な代替農地の確保が課題となっています。水土里ネット熊本では、熊本県の進める営農継続支援策の実現に向け、これまで培った経験とノウハウを基に、4つの取り組みで強力にバックアップして参ります。



農地のマッチングに向けた調査

### 水土里ネット熊本の取り組み

**取組みⅠ** 農地の状況把握とGISによる管理  
農地ごとの状況調査や潜在する遊休農地の提案を行い、GISを活用してマップ化。

**取組みⅡ** 農地情報の共有とマッチング  
関係市町村の相談窓口における、GISデータの利活用による耕作者の営農継続に向けた取組みを支援。

**取組みⅢ** 耕作放棄地の再生  
遊休農地の調査結果や、水土里ネット熊本の経験に基づいた効果的な農地再生に向けた整備の提案。

**取組みⅣ** 水資源の確保  
白川中流域における水源涵養について、引き続き協力するとともに多面的支払制度を活用した更なる取組みの拡大に向け、関係機関と連携を強化。



# 農業水利施設の維持管理・長寿命化に関する技術的支援

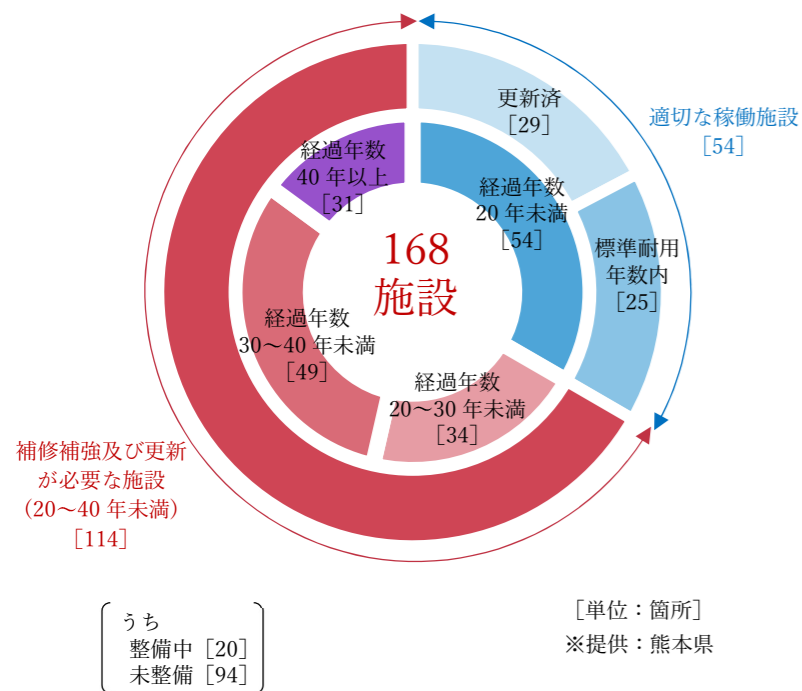
## 農業水利施設の オールラウンダーとして

農業水利施設は、食料の安定供給を支える基幹施設であるとともに、洪水防止、水質浄化、防火用水などの多面的機能を有し、地域にとっても重要な社会資本となっています。

しかし、県内の多くの施設は造成から長い年月が経過しており、特に排水機場では、『168』箇所のうち約7割に当たる『114』箇所で耐用年数20年を超過(うち80箇所においては30年以上が経過)し、突発事故等による湛水被害も危惧されるため計画的な施設更新が急務となっています。

水土里ネット熊本は、施設の更新整備が実施されるまでの間、これらの施設が、突発的な災害に耐え、必要な機能が適正かつ安定的に発揮されるよう、施設の診断・管理指導、整備補修、点検、技術者派遣等、幅広い技術的支援を行っています。

熊本県内排水機場箇所数と経過年数の  
関係及び整備状況 [R6.1時点]

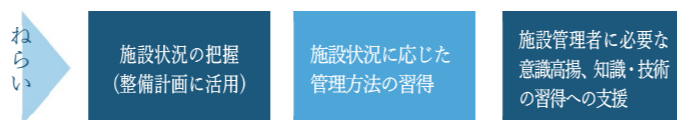


## 導く 診断・管理指導、研修・教育【土地改良区体制強化事業】



▶ 本会の管理専門指導員が施設の診断を実施。施設状況や管理方法について助言・管理指導を行う。

▶ 施設管理者に対し、操作運転、点検・整備、機能保全及び災害・事故リスク管理・監視等の現地指導等を実施。



## 防ぐ 点検【排水機場等管理業務】



施設の適切な点検が不具合の早期発見に繋がり、施設の機能保持及び事故発生リスクを低減。また、突発事故対応のための技術者派遣による事故発生時の被害拡大を防止。



## 補う 整備補修【土地改良施設維持管理適正化事業】



施設の定期的な整備補修を実施。施設管理者の管理意識高揚、施設の機能保持と長寿命化を図る。

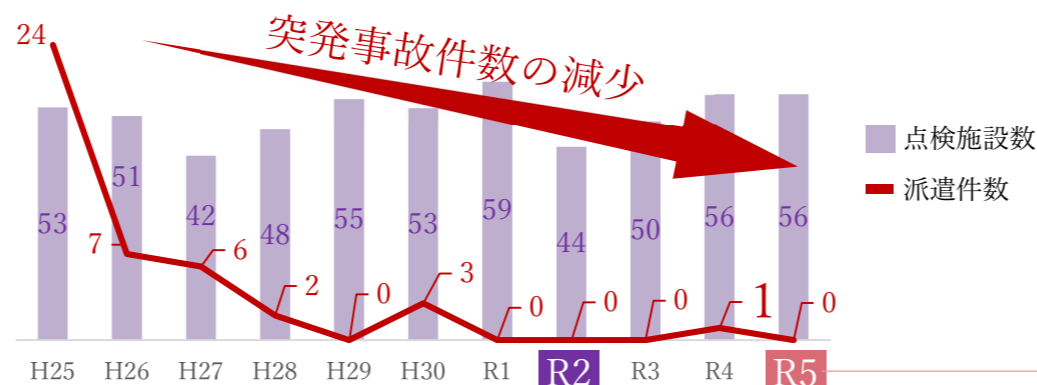


## 育む「農業用水」、繋がる「防災・減災」、 叶える「稼げる農業」

これまでの、水土里ネット熊本による「導く」、「防ぐ」、「補う」の取り組みが、県内各地の農業水利施設の機能を適切に維持・保全し、農業用水の安定供給に繋がっています。令和2年7月豪雨災害をはじめ、近年、大規模災害が多発していますが、これらの取り組みを通じて施設管理者の育成が図られていることで、緊急的な技術者の派遣や突発事故は減少傾向にあります。

水土里ネット熊本の取り組みは、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト低減に加え、農業や農村地域の「防災・減災」に繋がり、農家の「稼げる農業」の実現に大きく貢献しています。

排水機場等管理業務による技術者派遣対応件数の推移



令和2年7月豪雨災害を含め **突発事故件数: 0件**  
水土里ネット熊本による日常のきめ細やかな施設の診断・管理指導、整備補修、点検等の取り組みが令和2年7月豪雨災害時を含め、突発事故の発生を抑制

## Hot Topics

弛まない技術の研鑽—内部研修— 2023/12/11-12 in Fukuoka



1.水中ポンプ部品分解

2.水中ポンプの内部部品について①

## Internal Training

確かな技術を得るために

近年、突然の豪雨による災害の頻発化、激甚化が多発しており、有事における施設管理体制の強化が極めて重要となっています。本会では、このような災害時の突発的な対応であっても、日々の業務と変わらない確におこなえるよう、内部研修を欠かさず実施しています。確かな技術の取得は、施設はおろか、暮らしや住民を守ることに繋がります。そのため、私たちは日々の技術の研鑽を怠りません。



3.水中ポンプの内部部品について②

4.水中ポンプの構造、故障時の対応についての講義



# 災害への備えと防災重点農業用ため池対策への支援



## あってはならない災害 無くてはならない備え

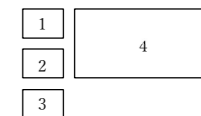
私たち水土里ネット熊本は、平成28年の熊本地震、そして令和2年7月豪雨災害という2度にわたる未曾有の大災害を経験しました。その教訓として、自然災害に対する備えを万全とするため、日々測量・設計技術の研鑽並びに災害等における支援体制の強化を図っています。

このことにより、災害発災直後の初動対応や関係機関との協力・要請、そして円滑な災害査定を可能とし、計画的な災害査定完了を実現します。あってはならない災害ですが、水土里ネット熊本は、これまででも、そしてこれからも、市町村や土地改良区にとって「無くてはならない災害の備え」として在り続けます。

## ため池に関する

### あらゆるリスクを限りなくゼロに 【ため池サポートセンター】

「熊本県ため池サポートセンター」には、ため池保全に関するスペシャリストが常駐しています。ため池管理者からの相談、日常点検の技術指導や現地パトロール、技術的な研修会などの啓発活動をワンストップで対応し、突発事故、豪雨による決壊等、ため池に関するあらゆるリスクを未然に回避しています。



- 1 ため池管理者への相談業務対応
- 2 漏水量調査
- 3 令和5年度農業用ため池の管理・保全研修会（上益城管内）
- 4 勝俣農林水産副大臣（当時）へ熊本県ため池協議会役員による要請文手交

## 的確に守る



ため池デジタル管理の講習



ため池簡易補修の講習

農業用ため池は時間の経過とともに自然災害の影響で決壊する可能性が増大します。水土里ネット熊本は大規模災害を未然に防止するため、ため池の簡易補修や施設管理のデジタル化等、実践的な講習会を開催し、施設管理者の育成に努めています。

## 災害対策の プロ集団が 被災農地を救う 令和5年梅雨前線豪雨災害対応

令和5年梅雨前線豪雨  
益城町

## 蓄積された経験値 支援の輪を全国へ

令和5年梅雨前線豪雨  
山都町

令和5年台風第7号  
鳥取県

令和6年能登半島地震  
石川県

### —益城町の被災状況と対応—



被害状況（農地埋没）



被害状況（農地法面崩壊）



災害対策班の執務状況

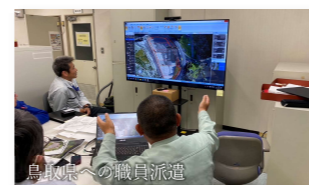


被害状況（道路法面崩壊）

- 6月29日 令和5年梅雨前線豪雨により上益城地方を中心に被害が発生。被害箇所数及び被害額を迅速に把握するため、会全体で被害状況の調査を実施。（2,084箇所）
- 7月25日 本部3階に災害対策班を設置、技術職員16名を4班体制で配置し、円滑な災害査定を支援。
- 10月23日 本会が受託している市町村の査定が開始。
- 12月20日 全査定完了。（113箇所 14市町村）  
▶実施設計業務（査定後～現在）  
早期の災害復旧に向けて、引き続き実施設計業務を遂行中。



鳥取県への職員派遣壮行式



鳥取県への職員派遣



山都町への職員派遣

水 土里ネット熊本はこれまで、平成28年熊本地震、令和2年の豪雨災害と2度の大地震を経験しました。私たちは、この経験を活かし、高度な技術力を備えた職員の育成に努め、ひとたび災害が発生しても市町村を迅速に支援できる体制を構築してきました。特に、令和5年6月から7月に発生した豪雨災害で被災した山都町、また、同年8月発生した台風7号で被災した鳥取県への技術職員の派遣、さらには「令和6年能登半島地震」で甚大な被災を受けた石川県に対する緊急支援物資の搬送など、今やその力は県内に留まらず、九州、全国へと広がりを見せています。



—災害備蓄品—



石川県へ出発する本会職員



搬送車 出発

期待  
広がる

## 水土里ネット熊本の役割

改正土地改良法による「土地改良事業の工事の委託」への取り組み  
令和4年4月に施行された改正土地改良法では、市町村、土地改良区等が緊急的な防災・減災対策や小規模な基盤整備を機動的かつ円滑に実施できるよう、土地改良事業団体連合会が会員から委託を受けて土地改良事業の工事（工事代行業務）を行うことができるようになりました。

まだ多くの課題がありますが、本会では、会員の負託に応えられるよう、この工事代行業務に係る情報の収集・分析を行い、昨今の市町村や土地改良区等の技術職員の減少に対応すると共に、更なる農業・農村の発展に貢献して参ります。



# 農業・農村の多面的機能を次世代に繋ぐ地域や土地改良区の活動を支援

## 『水』『土』『里』の美しさを次世代に繋ぐパートナーとして

農業・農村が持つ多面的機能は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等、その発揮により県民に多くの恩恵をもたらしています。

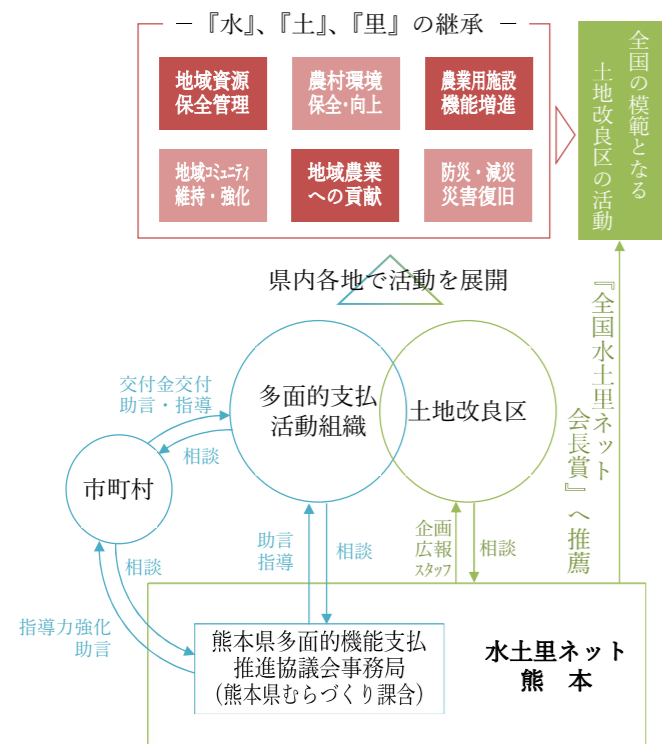
しかし、農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下に加え、近年の激甚化する豪雨災害等の影響により、地域の共同活動に支えられている多面的機能に支障を来しつつあります。

そのため、土地改良区と水土里ネットワーク熊本は、県内各地で「田んぼの学校」を始めとする様々な活動や「田んぼダム」の普及啓発を目的とした取り組みを展開し、将来を担う地域の子どもたちや住民の農業・農村に対する理解の醸成に努めています。

また、水土里ネットワーク熊本は、国、県並びに市町村、各地域の土地改良区と連携しながら「熊本県多面的機能支推進協議会」の事務局として、県内の活動組織が適切に実施することができるよう、研修会等での指導・助言、各種会議での情報発信、制度に対する理解促進のための広報活動など、幅広い取り組みにより活動組織及び行政の支援を行っています。

水土里ネットワーク熊本は、これからも、土地改良区の活動や多面的機能支の活動を支える地域のパートナーとして、地域の資産（たから）である『水』『土』『里』の美しさを次世代へ継承して参ります。

### 県内の地域活動に対する水土里ネットワーク熊本の支援状況



### 導く

事務研修 技術研修  
抽出検査



- 1 本会の職員が中間指導研修を実施。市町村が活動組織へ実施する事への助言・指導を実施
- 2 目地補修等技術講習会を実施。構成員の補修及び防草シート設置技術力アップを目指す

### 築く

新規役員研修会  
広域化推進勉強会



- 1 広域化推進の説明会に参加し、広域について質疑応答
- 2 広域組織と活動組織が開催する勉強会へ参加。地域の事務局員に対して制度説明や疑問への回答を実施

### 拡げる

田んぼダムの取組推進、普及・拡大



- 1 熊本県主催の「田んぼマイスター」講習会を開催
- 2 田んぼダムのイベントを熊本県と連携し普及・啓発を実施 (くまモン×クイズ)

## 繋がる「人」、引き継ぐ「地域資源」、 発揮される「農村の力」

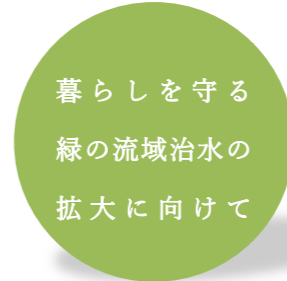
水土里ネットワーク熊本の「導く」、「築く」、「拡げる」の幅広い取り組みが、人と人を引き寄せ、地域の資産（たから）を次世代へ継承し、県内各地域における多面的機能の維持・発揮に大きく貢献しています。



地域の活動紹介



- 1 農業用施設を花々で彩る景観形成活動 御船町（御船中央広域協定運営委員会）
- 2 水路の目地詰め作業（小川町 技術講習会）
- 3 景観に配慮した芝桜の植栽 錦町（錦町農地・水・環境保全広域協定運営委員会）



## 私たちの豊かな農村地域の形成を目指して

### 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin熊本

九州各県の多面的支の推進協議会で構成される「くまもとふるさと環境フォーラム九州連絡会」の主催で、「九州農地・水・環境保全フォーラムin熊本」が開催されました。

熊本県蒲島知事は、熊本県が目指す「緑の流域治水」の一環として取組む田んぼダムの重要性について言及されました。

さらに、基調講演において、渡邊教授より田んぼダムのメリットや地域全体の防災意識の高揚へ繋がることなど述べられました。

また、各団体からの多面的機能支制度を活用した事例発表では、防災減災の大切さなどが述べられました。

このイベントの開催により、「九州の各活動組織や関係者が明確な意思のもと活発な活動を展開し、一般国民へ情報を発信・共有し続けることは、農山村地域の水・土・里の美しさや地域の絆を次世代へ繋ぐ手だてとなる。」ことを参加者共通の理解として一層深めることに繋がりました。



- 1 来賓祝辞（熊本県 蒲島郁夫 知事 ） 2 基調講演（講師：京大名誉教授・熊本大学客員教授 渡邊 紹裕 氏）
- 3 活動組織事例発表（錦町農地・水・環境保全管理協定運営委員会）

## Discussion - 今までとこれから -

多面的支機能交付金事業

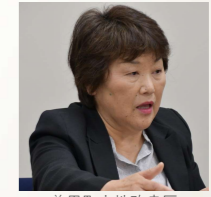
### 一農地を守り、次世代へ受け渡す一



熊本県むらづくり課 宮部主幹



農林水産省農地資源課 荻野課長



美里町土地改良区 向山氏



熊本平野南部土地改良区 久我事務局長

### 一災害の時こそ「多面」の力を活かす一



熊本県多面的機能支推進協議会事務局

令和6年1月18日農林水産省、熊本県農村振興局、土地改良区及び協議会事務局とともに事業のあり方について意見交換が行われました。

この中で、熊本地震や豪雨災害時における活用方法、また、農地を守り次世代に受け継ぐために必要な取組みなどについて、活発的な意見交換が行われました。

令和6年1月18日農林水産省、熊本県農村振興局、土地改良区及び協議会事務局とともに事業のあり方について意見交換が行われました。



# 土地改良区の運営基盤の強化、県内及び全国へ水土里ネットの役割をPRする活動



## 農業・農村を支えること それは土地改良区と寄り添い、共に歩むこと

食料の安定供給の基盤として必要不可欠な土地改良施設を管理する県内各地の土地改良区。  
現在、その土地改良区は組合員の減少や高齢化、土地持ち非農家の増加等により組織力の低下を招き、将来にわたる土地改良施設の適切な維持管理や更新が危惧されています。

また、土地改良区等は、複式簿記移行後、初めての決算を迎えたことに伴い、より深い内容の支援が必要となっています。  
水土里ネット熊本は、本会の会計指導員や顧問弁護士・公認会計士等と共に、複式簿記の導入による財務基盤の強化をはじめ、紛争処理等のための相談窓



川崎税理士と複式簿記指導の状況

## 財務基盤の強化[複式簿記導入への支援]

### 会計指導員による万全なフォロー体制

土地改良区等に、複式簿記が円滑に定着するよう、水土里ネット熊本は、土地改良区の相談に対応するため、農林水産省から認定を受けた会計指導員が土地改良区へ順次訪問し、複式簿記の指導を実施しています。

また、土地改良区等において、複式簿記への理解が深まることで生じる疑問点や会計処理に対する不安等を解消するため、複式簿記に関する研修会の企画・開催や複式簿記に係る巡回指導、相談を専属で担う係(財務指導係)を新たに創設しました。きめ細やかな支援を実施する体制は万全です。



研修会の状況

— 複式簿記導入のねらい —

- 資産管理の効率化
- 不正防止
- コスト意識の高揚

口の設置、土地改良区の役職員等に向けた各種研修会の企画・開催等を実施するなど、万全なフォロー体制と豊富な支援メニューで土地改良区の運営基盤の強化に努めています。

また、様々な広報ツールやイベント、研修会等を通じ、幅広い世代に対して土地改良区や農業・農村に関する更なる認知度の向上、理解促進を図っています。

水土里ネット熊本は、これからも土地改良区の皆様と寄り添い共に歩むことで、熊本県の農業・農村を支え続けていきます。

## 運営基盤の強化[相談窓口の設置]

### 幅広いネットワーク

土地改良区には、受益者等から様々な分野にわたる相談が数多く持ち込まれます。

水土里ネット熊本は、土地改良区の独自に解決できない問題等について、本会の顧問弁護士・公認会計士等、幅広いネットワークを活用して早期の法的解決に導き、組織の運営基盤強化を図ります。



顧問弁護士との相談状況

## 水土里ネットの 魅力を全国へ

水土里ネット熊本は、ポスター、広報誌「大地」、ホームページ等を通じ、会員情報や本会の活動等について県内及び全国に幅広く水土里ネットの魅力を発信しています。



水土里ネット熊本のホームページリニューアル



「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2023」  
入賞作品「おばあちゃん作ったじゃがいも」  
熊本市立龍田西小学校 3年生

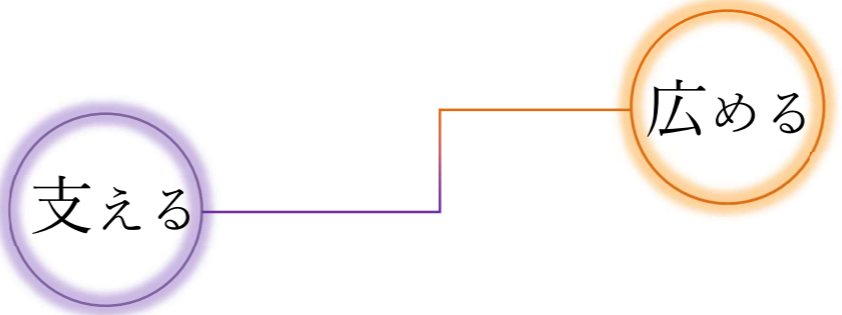


広報誌「大地」



## 農業・農村 × 教育

- 1 球磨川流域地域の小学生と保護者50名余りが参加した「森林の学校 in やつしろ」八代市の農業や田んぼの仕組みについて学習。特に木工体験でゴム銃やオーナメント作りなどが子どもたちを夢中にさせていた。
- 2 県内の高校と連携して実施した田んぼハイスクールの開催。参加した高校生は、童心に返り田植えや昔の農機具を用いた取組など体験。
- 4 水土里ネット熊本の近隣の小学校による「町たんけん学習」の一コマ。地域の職場体験や、児童の将来の夢や目標について考える機会を与えることを目的。測量機械やドローンなど子どもたちにとって珍しいものばかりで興奮が冷めやらない様子。



## 女性の活躍が 農業・農村をますます元気に

### 女性の会 活動紹介



「くまもと水土里ネット女性の会」は、平成30年度に発足し、女性の会は県内土地改良区、熊本県、連合会総勢91名が会員となり活動している。令和5年8月24日に山鹿市で営農支援(ぶどう狩り)を実施。また、9月27日～28日には秋田県鹿角市で開催された「水土里ネット男女共同参画推進大会」に参加した。11月3日には参加者200名を超える「水土里マルシェ」を開催。会場では水土里ネットの役割や田んぼダム啓発、県内農産物の販売などPRを実施スタッフには笑顔が溢れ終場賑わいを見せていた。

## あらゆる 事故リスクをなくすために

### - Danger Prevention -



土地改良施設に関する痛ましい事故を少しでも減らしたい。水土里ネット熊本は、このような想いから、土地改良施設に関する安全性の確保と事故防止対策のため、令和5年度より、本会独自の取組みとして会員土地改良区の皆様へ注意喚起看板を制作・支援しています。

## NEW SYMBOL 一会章



熊本県土地改良事業団体連合会  
**水土里ネット熊本**  
MIDORINET KUMAMOTO

### - コンセプト -

将来明るい熊本を見守る団体として、本会職員が、そこで働く人を太陽に見立て、水、農地、を整備し包み込むようなシンボルとしています。